

灯 (あかり)

『汗を流して、未来を拓く』

令和5年7月20日(木) 第10号

文責：校長 森下 隆司

1 学期が終わり、夏休みへ

玉之浦小中学校の児童生徒用玄関前の柱に、つばめが巣を掛けました。6月の出来事でしたが、今はヒナがかえり、元気な鳴き声を響かせています。元気なヒナを見ていると、4月からの子供たちの姿とも重なり、4カ月での小中学生の成長を実感するばかりです。

昨年度から引き継いだ学校教育目標「汗を流して、未来を拓く」は子供たちにも浸透し、私が話のできる時には、この学校教育目標の解釈を含めて、子供たちの活躍や頑張りを称賛してきたつもりです。現に、1学期に実施した学校行事や学校での活動において、子供たちそれぞれが献身的に取り組む頼もしい姿をたくさん見ることができました。

そんな中でも、特にうれしかった子供たちの姿は、自主的な取り組みと粘り強い取り組みです。

自主的な取り組みの一つは、前号でも紹介したこっそりと靴並べをしてくれる子供の存在です。他にも、友達が活動しているそばで見守り、そっと力を添えてくれる、頼もしい子供たちもいます。掃除や各種活動で小学生を見守ってくれている中学生の存在も、本校ならではの強みです。

また、粘り強い取り組みは、何といても中学生の部活動です。日々、努力を重ねながら身に付けたスキルは、子供たちの姿から、技術面だけでなく、精神面の強さも感じられました。日々のひたむきな努力が、今の中学生の、特に3年生の姿につながるのだと考えると、もっともっと努力することの大切さを語っていかねばならないと感じます。子供たちの可能性の大きさを実感します。

さて、今日から36日間の長い夏休みに入ります。御家庭では、ぜひお子様が1学期に身に付けた学力や生活力を発揮できる環境づくりをお願いします。学力面では、夏休みの課題や自由研究、作品作りなどに、生活面では御家庭のお手伝いなどに、子供たちが力を発揮できるよう、また継続的に取り組むことができるよう、お力添えをよろしくお願いいたします。

まずは、8月9日の登校日、そして8月25日の授業開始日に、すべての子供たちの元気な声を聞けること、明るい表情を見れることを楽しみにしています。

末筆にはなりますが、1学期において学校教育への御理解と御協力をいただいたことに対して、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



塙 未来さん、感動しました！

7月8日に行われた「社明弁論大会」へ、塙 未来さんが学校代表として参加し、見事に優秀賞に選ばれました。10名の参加者のうち、1年生の参加者は、未来さんただ一人。前日には全校児童生徒の前でリハーサルを兼ねて発表を行いました。弁論大会当日も落ち着き、表現力豊かな発表でした。担任の藤原先生の話によると、未来さんは発表時も会場に駆け付けた先生方を見つけたり、先生方の表情や様子を確認したりするほどの落ち着きぶりだったそうです。すごいですね。おめでとうございます、未来さん。



